

こんごうちは 健保組のびるー

# 根岸運輸株式会社 の巻

(船橋市)



二月十三日に開幕したカナダ・バンクーバー冬季オリンピックでは、七競技八六種目による一七日間の熱戦が繰り広げられました。

日本は、残念ながら金メダルの獲得はありませんでしたが、前回大会（金メダル一個）を上回る銀メダル三個、銅メダル二個の合計五個という結果となりました。メダルの数もさることながら、選手達の堂々たる競技や演技には多くの夢と感動を与えられました。また、「氷上のチェス」といわ



▲根岸俊夫社長

さらに、安全運転の指導ツールとしてSR（セイフティレコーダ）を導入しました。SRはドライバー個々の運転操作技術がデータ化されるため、ふだんの運転のクセや日常運転の傾向を分析することにより、改善すべき点が明確になります。その結果、運転技術や燃費が向上し、配送の効率化につながっていきます。

特に、私たちが興味をもったことは、取引先と協力して「ドライバーズマニュアル理解度テスト」を作成されたことでした。テストは、接客態度やあいさつのしかた、服装などマニュアル化された一〇〇問の問題に答える内容となっています。ドライバーは単に配達するだけではなく、一人ひとりが「セールスドライバー、商品に携わるすべての代表者」と位置づけており、人材の育成には積極的

に取り組んでおられます。「この会社で長く勤めていきたいと思える仕事であれば、社員も一生懸命に業務に取り組みは、私の仕事は社員のやる気を最大限に発揮できるよう、魅力ある会社にしていくことです」とおっしゃられました。

徹底した社員教育と取引先のニ

れる「カーリング」のほか、注目を集めた競技もたくさんあり、二〇一四年開催予定のロシア・ソチオリンピックでは、日の丸を背負った選手たちのますますの活躍に期待するところです。

★ ★ ★  
前日までの寒さがうそのように春の陽気を感じた三月三日、第五七回目の事業所訪問として、本社が船橋市湊町に所在する根岸運輸株式会社（根岸俊夫社長）にお邪魔することとなりました。

本日の目的地は、当事務所から車で数十分の京葉港地区内にありました。船橋市は交通網も発達しており、また都心にもほど近いことから、物流拠点として恵まれた立地条件でありました。

私たちが「こんにちは健保組合です！」とごあいさつすると、ご

ーズに柔軟に対応することにより、確固たる地位を構築され、半世紀にわたり健全な事業運営を続けられてこられたのだと私たちは確信しました。同社のさまざまな取り組みは、今後のますますの発展につながることに目に見えるようでした。

まだまだ話題は尽きませんが、最後にご自身の健康管理について伺いました。

根岸社長は、ふだんから「早寝早起き」を心がけているとおっしゃいます。その背景には、以前は深夜早朝にかかわらず現場に向かうこともあり、心身ともに疲労が蓄積されご苦労されたそうです。そこで、早寝早起きをするようになったところ、最初は苦痛（？）だったのが徐々に慣れていき、生活リズムが整えられ体の調子も改善されたそうです。また、社員とのコミュニケーションとしてゴルフをたしなむほか、毎日の日課として朝夕それぞれ一時間程度、愛犬との散歩で、ウォーキングを兼ねて運動不足を解消するなど、健康管理には注意されているようでした。

世界的に経済が低迷するなか、企業経営には私たちが想像する以

多忙のところ今日の取材に快くお付き合いいただきました根岸社長が迎えてくださいました。根岸社長は、第八期組合会議員として日ごろから組合運営にご指導ご協力をいただいているところです。

一歩一歩確実に歩まれ、今年で設立五〇周年！

初めに同社の社史や業務内容について伺いました。

根岸運輸の前身は、銚子方面で水揚げされた魚介類をリヤカーで船橋市内に配送することから始められ、昭和三十五年十二月に法人化されました。

その後、日本の高度成長とともに街も急速に発展し、需要も拡大するなか、同社は一歩一歩確実に事業を展開され、運送の基盤を築いてこられました。

現在の主な業務内容は、「K&K」ブランドで有名な国分株式会社（仕分け）作業し、その商品を千葉県と東京都内一部のLAWSONへ配送を行うなど、総合物流サービスを提供されています。

私たち消費者は、店頭で商品が並んでいることがごくあたりまえ

のように思っていますが、そのバックヤードには物流が機能していることを忘れてはいけません。運送が途絶えることは、国民生活にとって不便を強いられることになりかねません。

日本経済の基盤を支えている運送業界が、運賃価格の競争激化、燃料価格の高騰や環境問題への配慮によるコストアップなど、一段と厳しい経営環境下にあります。

そのような厳しい情勢のなか、同社は時代が求めている物流の姿をいち早く感じ取り、今年で設立五〇周年を迎えることとなりました。

根岸運輸の皆さん、おめでとうございます！

徹底した安全教育と積極的な人材の育成により事故がゼロに

続いての話題は、コスト管理や従業員の安全指導に移行しました。

同社では、ドライバー教育の一環として、KYT（危険予知トレーニング）ミーティングを実施しておられます。あらゆる交通環境に潜む多数の情報を共有し、危険因子の予測や問題点を互いに検証し正しい認知と判断する能力を高めることにより、安全運転の徹底を図られています。

上にご苦労されると思いますが、どうぞこれからも健康には十分ご留意なさってください。

★ ★ ★  
貴重なお時間をちようだいし

て始まった取材の時間もあつという間に過ぎ、私たちは根岸運輸をあとにしました。根岸社長をはじめ、従業員の皆さんありがとうございました。